

「ゴールデンウィーク」(和田)

大型連休のゴールデンウィークが終わりました。皆様はいかがお過ごしされましたでしょうか。ゆっくりお休みされた方、休みなしに仕事された方もいらっしゃるかと思います。そんなゴールデンウィーク。言葉自体は、1951年に上映された自由学校という映画をきっかけに春の大型連休をゴールデンウィークと呼ぶようになったそうです。因みに、なぜ『ゴールデン』かということ、当時はラジオの視聴率が高かった時間帯であるゴールデンタイムから引用されたとのことです。ゴールデンてなんとなく凄いイメージですもんね。そんな私はというと…蕎麦大食い挑戦しました。記録は50皿…もうダメ。お腹痛い。ちなみに、土手さんは30皿でした。。。



今さら聞けない 経済用語

今月の教えてキーワード：【家計債務】

家計が抱える金融機関などからの借金のこと。住宅や車のローンが大半を占め、クレジットカードを使った借り入れなどを含む。新型コロナウイルスの影響で住宅需要が拡大し、世界の家計債務総額は2021年9月時点で55.4兆ドル(約6600兆円)とコロナ前に比べ12%も増えた。債務拡大が景気を下支えする一方、将来的に潜在成長率の低下や金利上昇局面での返済負担増大などで経済の足かせとなるリスクが懸念されている。

知っとこ! 「税務のマメ知識」

【住宅ローン控除の改正について】

2022年度の税制改正により住宅ローン控除が改正されました。住宅ローン控除の制度は条件によって複雑になっているため、ここでは今回の改正の大きなポイントをご説明します。それは「控除率」「控除期間」「住宅の性能による借入限度額の違い」「適用対象者の所得要件の引き下げ」「中古住宅の築年数要件」です。控除率は、ローンを組んだ人が得する逆ざやを是正するため一律0.7%に縮小されます。控除期間は、2023年までは世の中の経済状況が厳しいことを鑑みて13年間のまま据え置かれます。住宅の性能による借入限度額の違いは、今後はカーボンニュートラル実現の観点から認定住宅、ZEH水準省エネ住宅など環境に優しい住宅には上乘せがある一方、省エネ基準に適合しない他の住宅については、住宅ローン控除が受けられないようになっていきます。



適用対象者の所得要件の引き下げは、所得金額が3000万円以下であったのが2000万円以下に引き下げられます。中古住宅の築年数要件は、木造20年・耐火構造25年以下の住宅しか控除が適用されなかったのが、1982年以降に建築された新耐震基準適合住宅であれば要件を満たすこととなります。今回の改正のポイントとしては、環境に配慮した性能の高い住宅のほうが、より減税の恩恵を受けられる方向になったといえるでしょう。

今を生きる
先人の言葉

人生ではない
速度を上げるばかりが

インド独立の父であるマハトマ・ガンジーの言葉。ネット社会では効率やスピードを重視するが、見える景色も見えなくなるため、ゆっくり進むことも大切だ。